



つづく つながる 夢が育つ学び舎

国立二小だより

令和3年(2021年)2月26日

国立市立国立第二小学校

校長 小林 理人

## 成長を感じる嬉しい出来事

校長 小林 理人

春の柔らかい陽がさしこむ校長室に、可愛らしい来客がありました。大きく膨らんだ白梅の蕾や甘い香りのキンカンの実といった春の報せを手にした低学年の子供たちです。コロナ禍の一年でしたが、遅しく成長した子供たちの姿に、嬉しさとともに進級、進学の時が確実に近づいていることを感じました。

その他にも、子供たちの成長や進級、進学への意欲を感じる嬉しい出来事がたくさんありました。

### 展覧会前日祭

先週は、創立70周年の節目となる展覧会が開催されました。コロナ禍の開催ということで保護者の皆様には様々な面でご理解とご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。

展覧会を翌週に控えた日の出来事です。

「6年生が展覧会の前日祭をしたいと言っています。小学校生活の締めくくりとなる展覧会で、これまでのように作品を展示するだけではなく、今できることを全てやりきりたいと言っています。」

展覧会を担当する久保先生が困ったような嬉しいような様子で校長室にやってきました。

「展覧会の前日祭」・・・前例のないこと、計画にないことですが、コロナ禍で学んだ「今できることを精一杯したい」という子供たちの気持ちは嬉しく、よく理解できました。そこで、久保先生と実施の方法等を相談し、子供たちの考えを尊重した「展覧会の前日祭」を実施することにしました。

展覧会の前日、6年生の呼びかけで集まった子供たちが体育館の壁面に絵を描きました。そして、子供たちの夢と感謝がつまった希望あふれる壁画が完成し、展覧会に子供たちの思いが華を添えました。

### 卒業生から在校生に贈る言葉

本校では6年生を送る会で、卒業生から在校生に大切にしてほしいことを言葉にして贈ることが恒例になっています。在校生は、卒業生から贈られた言葉を新しい年度の目標にして学習や生活をします。

先日、6年生の代表委員が校長室に来て、贈る言葉についての説明がありました。今年も、教育目標である「つよく」「かしこく」「あたたかく」を踏まえて贈る言葉を考えてくれました。

( )内は言葉を決めた理由です。

- |                        |                              |
|------------------------|------------------------------|
| (つよく) あきらめない心をもつ       | (コロナ禍の1年で自分たちが学んだことしてきたこと)   |
| (かしこく) 自分の意見をもち相手に伝えよう | (考えをもつだけではなくそれを伝えることが大切)     |
| (あたたかく) 心が温まる行動をする     | (コロナ禍でも心は距離をつくらずに心が温まる行動をする) |

この説明を聞いて、6年生がコロナ禍の1年間、どんな気持ちで過ごし、何を努力してきたかを改めて感じました。そして、それを自分たちの言葉で在校生に伝えようとしていることがうれしくなりました。

### 更なる成長に向けて

私たち教職員も、子供たちの更なる成長に向けて来年度の計画づくりを進めています。そして、保護者の皆様のご理解とご協力を得ることができるよう、その内容を保護者会で説明させていただく予定です。今回の保護者会は感染症対策を十分に行った上で、学級毎に対面での開催を考えています。その際、会の冒頭で来年度の計画を動画でお伝えする予定です。また、ご出席いただけなかった皆様にもGsuitによる動画配信を行います。本日は、その内容を裏面右側に掲載しましたのでご一読ください。

創立70周年の節目であるこの1年も3月を迎えます。これまで経験したことがない1年間になりましたが、子供たちの頑張りとお皆様のご理解、ご協力により、嬉しい子供たちの活躍や成長がたくさんありました。そして、更なる成長に向けて明るい光も見えてきました。

3月は、学校や子供たちの活躍や成長を支えてくださった多くの人への感謝の気持ちを持ち、それを伝えることを意識し、1年間を締めくくります。

